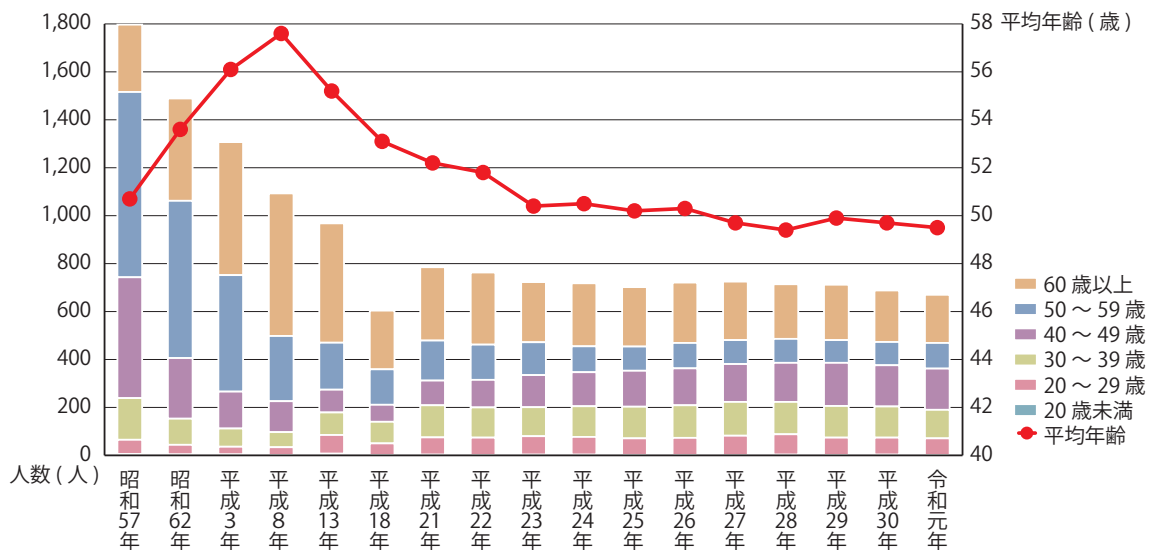


### (3) 人材の確保・定着

#### 現状と課題

- ◆ 林業事業体の経営基盤、組織基盤は総じて脆弱であり、森林の管理・経営を担当する職員を配置している事業体は多くありません。
- ◆ デジタル化の推進についての意識が浸透しておらず、デジタル化に対応できる人材の不足、機器整備の遅れにより業務のデジタル化は進んでいません。
- ◆ 危険を伴う作業が多く、傾斜等の現場条件が悪いため、機械化、自動化が進んでいません。
- ◆ 令和元年度の労働災害発生状況（休業4日以上死傷者数の千人当たりの人数）は20.8人/千人と全産業の平均2.2人/千人の約9倍となっています。
- ◆ 現場での作業に従事する林業従事者数は、平成18年度の604人を底にその後700人台で推移してきましたが、平成30年度に688人と700人を割り込み、令和元年度は670人でした。
- ◆ 林業従事者の内、女性は令和元年度の調査では13名と依然として少なくなっています。
- ◆ 林業従事者の平均年齢は、平成8年度の57.6歳から徐々に下がり、令和元年度は49.7歳でしたが、60歳以上の人数が30.0%と依然として多い状況です。（図3-1-2-2）

図3-1-2-2 年齢階層別林業従事者数と平均年齢の推移



出典：令和2年度林業従事者実態調査（群馬県林業振興課）

- ◆ 新規就業者は平成25年度以降、毎年50人を超えていましたが、令和元年度は39人と減少しています。また、この内85%を再就職者が占めています。
- ◆ 令和元年度の林業離職者数は27人で、その平均年齢は44.4歳となっています。平成29年度林業従事者実態調査（平成28年度分）において最も多かった離職の理由は、「健康上の理由」であり、以下「林業より良い条件の仕事があった」、「作業条件（仕事がつい）」、「同僚や事務所との人間関係」、「定年退職」という順となっています。

- ◆「緑の雇用」事業<sup>\*</sup>における林業作業士<sup>\*</sup>研修修了者の定着率は、3年経過後に72.2%、4年経過後に58.8%と低下傾向で定着率向上が課題となっています。
- ◆年間就労日数が200日以上在林業従事者は、平成20年度には59%でしたが、令和元年度は73%で通年雇用が進んでいます。
- ◆林業従事者の推定平均年収は、平成29年度林業従事者実態調査では315万円（年間平均就労日数208日）となっています。また、林業従事者の賃金支払形態は、日給が最も多く全体の約67%を占めています。林業は技能、技術を要すること、労働負荷や危険性が高いことを考慮すると、給与水準は高いとはいえません。
- ◆林業労働力を確保することを目的として、「林業労働力の確保の促進に関する法律」に基づき指定されている群馬県林業労働力確保支援センターでは、林業労働力を確保するために、林業への就業相談や情報提供を行っています。
- ◆群馬県林業労働力確保支援センターによる事業体支援の更なる強化も重要となっています。
- ◆森林組合は森林所有者で組織されている協同組合で、地域の森林の経営管理・整備の中核的役割を担っています。
- ◆県内に15組合あり、森林所有者の約40%が加入し、その所有面積は民有林の約56%を占めています。また、経営面積は約12万7千ha、一組合あたりは8,471haで全国平均の約半分となっています。
- ◆一組合当たりの出資金は約3千4百万円と全国平均の約4割、準備金及び積立金は約1億円と全国平均の約7割となっており、県内森林組合は経営基盤が脆弱です。
- ◆森林組合の素材生産量は、平成22年度に約3万4千m<sup>3</sup>だったものが令和元年度には11万m<sup>3</sup>を超えるなど、林産事業への取り組みを強化しています。
- ◆林業従事者は通年雇用のほか、個人事業主、一人親方<sup>\*</sup>、臨時雇用など雇用形態が様々であり、厚生年金加入者のほか、国民年金に加入している人もいます。また、退職金の共済制度については、中小企業退職金共済制度や林業退職金共済制度等に加入しており、加入率は77%となっています。
- ◆森林経営管理制度の本格運用に伴い、意向調査や経営管理権集積計画の作成など市町村が行う業務への支援が求められており、これを担う技術者の育成が必要な状況となっています。
- ◆「地方創生SDGsローカル指標リスト」（自治体SDGs推進評価・調査検討会）において、林業試験指導機関人員率がグローバル指標15.2.1「持続可能な森林経営における進捗」のローカル指標案とされ、持続可能な森林経営を進めるため、林業試験指導機関の体制強化が求められています。

将	来	ビ	ジ	ョ	ン
---	---	---	---	---	---

- ◆ 労働負荷の軽減や林業従事者の所得向上等により、林業が魅力ある職場として認知され、新規林業従事者が増加しています。
- ◆ 林業従事者の技術向上と機械化の進展により、安全性が向上し、死亡災害がなくなるとともに、労働災害が建設業と同程度まで減少します。
- ◆ 地域の林業事業者が地域の森林の経営管理を支え、山村に雇用が生まれています。
- ◆ 雇用条件や現場環境の整備により、女性が働きやすい環境が整っています。
- ◆ 森林経営管理制度の推進により、意欲と能力のある林業経営者による森林経営の集積・集約化が図られています。

## 取組の方向性

- ◆ 林業就業についての情報発信の強化、林業の見学・就業体験等の実施により、新規就業を促進します。
- ◆ 各種技能研修や経営管理研修を実施し、森林を適切に管理・経営できる人材を育成します。
- ◆ 施業の効率化やデジタル化により、林業従事者の所得向上を図ります。
- ◆ 林業従事者がやりがいを感じ、安心して長く働けるよう、労働安全衛生対策や福利厚生を充実するなど、雇用条件を改善し、離職者数を減少させます。
- ◆ 地域における産業（林業、木材産業）基盤を支える人材を育成・確保します。
- ◆ 林業試験指導機関人員を確保するとともに、能力向上を図ります。

## 具体的施策《重点取組》

### (新規就労者の確保)

- ◆ 群馬県林業労働力確保支援センターがその機能を十分に発揮できるよう、実施する事業や運営を支援します。
- ◆ ニューノーマルに対応した就業相談等、林業就業に関する情報発信や就業体験の取組を強化し、ハローワーク等の就業関係機関や移住定住機関との連携を図り、担い手の確保を図ります。
- ◆ 即戦力となる人材を育成するため、就業希望者が必要な資格を取得し、技術を十分に学べるよう県立農林大学校のカリキュラムの向上を図るとともに、「ぐんま林業実践学校(仮)」の開設を目指します。

### (育成、技術向上)

- ◆ 「緑の雇用」事業における林業作業士の研修や技術向上研修への参加を支援します。
- ◆ 森林資源状況の把握や経営管理の企画立案等のコンサルタント業務を担う森林施業プランナー及び木材の高付加価値販売、事業体間の連携などを担う森林経営プランナー<sup>\*</sup>等の技術者を育成します。
- ◆ 伐倒技術や高性能林業機械の操作など、就業後の更なる技術向上や資格取得を支援し、OJT<sup>\*</sup>を担うの指導者を育成します。



伐倒練習機によるデモンストレーション

### (雇用の改善)

- ◆ 林業従事者が安心して働き続けられる環境を整えるため、雇用管理者の意識改革、厚生年金や退職金共済への加入促進など福利厚生を充実させる取組を支援します。
- ◆ 「意欲と能力のある林業経営者」が継続して安定した林業経営が行えるよう、森林整備に必要な林業従事者の確保・育成・定着を図るための雇用条件の改善や事業の効率化等の取組について指導します。
- ◆ 安全性の向上や労働負荷の軽減を図るため、高性能林業機械の自動化や保育作業の機械化を推進します。
- ◆ 働きやすく魅力ある職場づくりを進めるため、ICTを活用した生産管理やデータ集約などによる業務のデジタル化を推進します。
- ◆ 林業従事者の所得向上を図るため、低コスト林業、デジタル化など収益性を高める取組を支援します。

### **(労働安全衛生の推進)**

- ◆ 労働災害を未然に防ぐため、雇用主及び林業従事者の労働安全衛生意識の向上を目的とした現場指導を行います。
- ◆ 振動業務健康診断<sup>\*</sup>の受診や蜂アレルギー検査、チェーンソー作業従事者再教育の取組を支援します。

### **(森林組合等、林業事業体の体制強化)**

- ◆ 地域の森林管理の中心的な担い手としての役割を果たすため、各種研修や資格取得の促進を通して、森林組合をはじめとした林業事業体の経営基盤の強化、技術力の向上を図り、組織体制を強化します。
- ◆ 森林組合が有する森林経営に関する能力・ノウハウを最大限に発揮するため、地域の素材生産業者との連携を進めます。

### **(林業試験指導機関の体制強化)**

- ◆ 林業試験指導機関の体制を強化することにより、森林ゾーニングによる森林の特性や地理的条件に応じた効率的な施業方法等に関する研究を進めます。

数値目標 【林業システムの改革】		
指 標 (★重要指標)	現状値	目標値
★林業就業人口1人当たりの林業産出額 [木材生産] (万円/年)	174	232
★山元立木価格 [スギ] (円/m <sup>3</sup> )	2,596	3,596
林業産出額 [木材生産] (千万円/年)	215	320
★素材生産量 (千m <sup>3</sup> /年)	379	500
造林面積 (ha/年)	136	400
高性能林業機械稼働台数 (台)	204	250
森林経営計画策定面積 (ha)	32,924	50,924
路網の開設延長 (km) ※森林経営計画内のH23~R12累積延長	975	2,900
素材生産性の向上率 (%) ※意欲と能力のある林業経営者の平均素材生産性 (m <sup>3</sup> /人・日)	－ (5.08)	150% (7.62)
森林資源情報の高度化面積 (千ha)	－	231
3Dレーザー、ドローン等の活用による森林施業に取り組む事業体数	－	16
林業従事者数 (人)	670	850
★65歳未満の林業従事者数 (人)	524	700
★林業従事者 (現場技能者) の平均年収 (万円/年)	－	500
新規就業者数 (人) *10年間の累計	479	580
死傷者数の減少率 (%)	－ (18人/年)	30% (12人/年)
★林業試験指導機関人員率 (人口10万人当たりの人数)	0.6	0.8